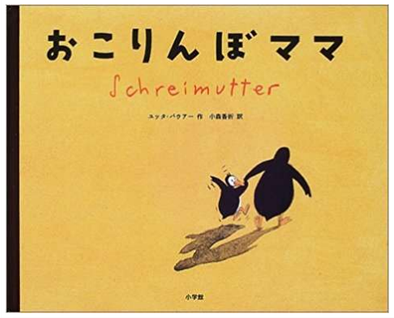
図書室から Book Guide No.276

おこりんぼママ

ユッダ・バウアー/作
小森香折/訳

小学館
1375 円



「きょう　ママが　ものすごく　どなった。」そしてぼくは、バラバラになって、とんでいった。バラバラになったぼくのかけらは、それぞれが、いろいろな場所に散らばってしまったものだから、元に戻るのは大変だ。ぼくは、足だけでぼくのかけらを探しに行った。というお話。きっと、本当にはバラバラにはならなくても、ママが、ものすごく怒ったら、子どもの気持ちは、こんな風にバラバラになってしまうのかも。なぜ怒られたかは考えられなくてね。子どもと一緒に読んだら、きっと笑顔になれますよ。

ながい　買う・買わない　編集後記 108

◆昔と言っても、それほど昔ではない高度経済成長期が始まるちょっと前まで、子どもたちの学校へ行く服装は今では殆ど見なくなったツギのある物が多かった。ツギがあると言っても洗濯はきちんとしてあるものだ。靴下もホコロビは縫って直したものが当たり前だった。日本社会が貧しかったとも言えるが、それだけ物を大切にしていた。

◆それが今ではどうだ。学校へ行くのも、お出かけするのも今の子どもは変わりなくなってしまい、ひらひらしたスカートや白いズボン、可愛い靴下で行く。破れると繕うことなく捨てる。センターに来るのも同様でとても遊ぶ服とは思えない子も多い。子どもたちが充分遊ぶためには、お洒落よりも汚れても、破けても良い服装で来てほしい。お母さんに、お父さんに叱られるという服装で来ないで、思いっきり遊んでもらいたい。TPO という言葉が昔流行ったが、時と、場所と、目的を考えても良いのではないか。1970 年台の親は「センターに白い靴下を履いていくな」が合言葉で、子どももちゃんとわかっていて「履き替えてきた」と色物の靴下で来たものだ。今では、靴下どころか、自分が何をきてきたのかもわからない子が多い。その証拠に、脱いだジャケット等の忘れ物が多く、そして取りに来ない。

◆話は違うが、ランドセルは一年前に準備が必要だという。まだ、年長になりたてだというのに既に入学準備が始まる。ランドセルは入学祝に用意するものと思っていたが、もう一年前に準備しないといい品物は手に入らないという。これも異常と言えば異常だ。確かに６年間使うものだから軽くて、ポケットがいっぱいあって、肩に柔らかいクッションが入っているものとなると競争になるのかもしれないが、一年前に買わなくては、二年前に買わなくては・・・生まれてすぐ買わなくてはということになりはしないか。どこかで歯止めをかけなくては・・・。

◆携帯電話も低年齢化している。今まで高校を卒業したら、中学を卒業したら、中学生になったら・・・そして小学生高学年でも、そして中学年でも携帯を持ち始めている。センターにくる子も学校は校長先生の許可がいるようで、持ってくる子は少ないようだがセンターは自由だ。だが、自転車のカギも満足に自己管理できないのに、携帯を自己管理するのは無理だ。携帯の便利さを理解できても、携帯の恐ろしさをまだ理解できていないのであろう。無くしたと言って、探し回ることしばしばである。

◆決してツギはぎだらけの物を着ればよいとは言わないし、白い靴下をはいてくるなとも言わない。ランドセルも、携帯も持つなとも言わない。大人が良かれと思ってやっていることが、実は子どもたちの本来のありようを押さえつけてしまっていることにはならないか・・・。

針山直幸

NPO Akaiyane
特定非営利活動法人　あかい屋根
NPOあかい屋根広報紙
ひまわり
発行：特定非営利活動法人 あかい屋根 ひまわり編集部
044-976-0444
第 550 号
2022/ 6/ 1

わんぱく生活学校の大綱が決まる！

感染防止の中できることは・・・

事前研修：７月１６日・１７日・２２日（２２日は午後のみ）
キャンプ：７月２３日～２５日
募集人員：２５名（最低催行人数１５名）
募集対象：小学３年生以上、６年生まで
費　　用：１６，０００円

子どもたちが楽しみにしているキャンプ。山梨県丹波山村で行う予定です。

感染予防をしっかりとするために、バンガローを定員の半分程度にする、食事の体制に気をつける等を行うこととしました。バス代も値上がりし、キャンプ費用も値上げせざるを得ない状況です。

このキャンプは、自然を満喫し、親から離れて、自分がこう動いたら相手がどういう気持ちになるだろうということを、身をもって体験するキャンプです。そのために事前研修は、仲間づくりやキャンプ知識を習得するために欠かせないものとなってきます。事前研修を含めてのキャンプなのです。

まだ、大綱ではございますが、この「ひまわり」が皆様のお手元に届く頃には「募集要項」ができておりますので、興味のある方は菅生こども文化センターに取りに来てください。いつもは、バス２台をチャーターし 70～80 名で開催する「わんぱく生活学校」。今年は 25 名と少ない募集人員ですので、親密な「わんぱく生活学校」となりそうです。

わかば祭点描5月8日（日） 650名の参加

くす玉を割って始まり

菅生中吹奏楽部

初出演コーロディミモザ

恒例百合丘高校ダンス部

今年は「山ばん」が出演

人形劇

もらった風船の刀をあわせて

蔵敷こども太鼓連

6月のおしらせ

新型コロナの感染状況で、変更・中止もあります

菅生こども文化センター

044-976-0444

6月1・8・15・22・29日(水) 14：30～16：30
あそべば　誰でも　無料
　1日　ペットボトルキャップおにごっこ
　8日　あいうえおバトル
　15日　音をだしたらまけ
　22日　忍者検定
　29日　傘モビールを作ろう

6月17日(金)　10：45～11：30
がおがおらんど　～かえるゲコゲコ工作
　　レインコートファッションショー～
未就学児親子　無料

6月19日(日)　10：30～12：30
のびのびサンデー　～エッグキャンドル＆宝探し～
無料　要申込25名　受付開始5/2

6月25日(土)　13：00～15：00
ONEばーく
～缶ランタン作りとインデアンテントでキャンプ気分～
150円　要申込　20名　受付開始6/1～6/20

6月の工作
いつでも工作　すがお工房
ストローブレスレット　誰でも　無料
やりたい時に、スタッフに声をかけて下さい。

蔵敷こども文化センター

044-977-2577

6月1・8・15・22・29日(水) 15：00～16：30
ぞうさんのポケット　誰でも　無料
　1日　手形アートを作ろう
　8日　忍者クラブ
　15日　ラダーボールで遊ぼう
　22日　てんか大会
　29日　1on1おにごっこ

6月9日(木)　10：30～11：30
ちっちゃいもんくらぶ　～おやこのいばしょ～
未就学児親子　無料

6月26日(日)　10：30～12：00
うりっこひろばスペシャル
～おまつりっこ(ミニまつり)～
200円　要申込　受付開始6/1～18
未就学児親子

6月の工作
いつでも工作　ぞうしきクラフト
ペコペコロボット　誰でも　無料
やりたい時に、スタッフに声をかけて下さい。

7月のおしらせ

新型コロナの感染状況で、変更・中止もあります

菅生こども文化センター

044-976-0444

7月6・13・20日(水)　14：30～16：30
あそべば　誰でも　無料
　6日　織姫と彦星をあわせよう
　13日　ラダーボール
　20日　せんすづくり

7月15日(金)　10：45～11：30
がおがおらんど　～みずとあそぼう～
未就学児親子　無料

7月10日(日)　10：30～12：30
のびのびサンデー
　　ひかりのはこ作り　＆　シティングバレー
無料　要申込25名　受付開始6/19

7月の工作
いつでも工作　すがお工房
ミニサマーハット　誰でも　無料
やりたい時に、スタッフに声をかけて下さい。

蔵敷こども文化センター

044-977-2577

7月6・13・20日(水)　15：00～16：30
ぞうさんのポケット　誰でも　無料
　6日　竹のぶんぶんゴマであそぼう
　13日　忍者クラブ
　20日　リアル野球盤

7月7日(木)　10：30～11：30
ちっちゃいもんくらぶ　～おやこのいばしょ～
未就学児親子　無料

7月14日(木)　10：30～12：00
うりっこひろば　～ビショビショっこ～（水遊び）
未就学児親子　無料

7月の工作
いつでも工作　ぞうしきクラフト
ストローヒンメリ　誰でも　無料
やりたい時に、スタッフに声をかけて下さい。

わかば祭のウクライナ支援募金に

￥２４，６９９－　ものお金が集まりました。

日本ウクライナ友好協会に、菅生こども文化センターわかば祭の名前で振り込ませて頂きました。沢山の協力ありがとうございました。